

PRESERVATION OF LAWN GRASS TO BE TRANSPLANTED

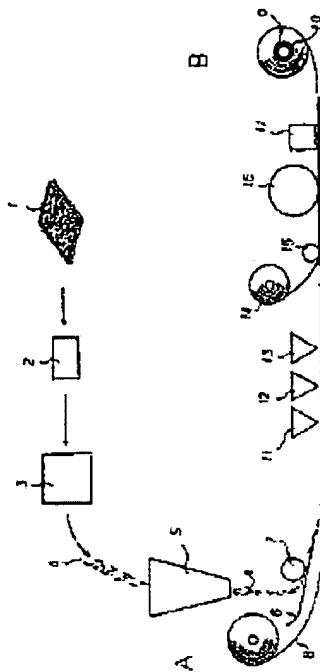
Ady

Patent number: JP3067524
Publication date: 1991-03-22
Inventor: MIYAIKE MASAFUMI
Applicant: SANYO SHIBAFU KK
Classification:
- international: A01F25/00; A01G1/00
- european:
Application number: JP19890203567 19890806
Priority number(s): JP19890203567 19890806

Abstract of JP3067524

PURPOSE: To automatically spray pure water upon lawn grass at regular intervals in a warehouse and to preserve the lawn grass by disintegrating lawn grass, extending, covering striped runners with a net, packaging with a winding film and preserving the lawn grass in the warehouse at a fixed low temperature.

CONSTITUTION: Cut lawn grass 1 is disintegrated, extended, striped runners 4 are arranged on a net 8 of proper mesh, the surface of the runners is further covered with the net 8 to constitute a continuous wound roll 9. A netlike pipe of fixed size is used as a winding core 10 of the wound roll. The surface of the roll is packaged with a film 20 made of synthetic resin bored with a great number of through holes at proper intervals and the lawn grass as a packaged material 22 is put in a warehouse at about 5-12 deg.C low temperature and stored to preserve lawn grass to be transplanted.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

⑪ 公開特許公報 (A) 平3-67524

⑫ Int.Cl.⁵A 01 G 1/00
A 01 F 25/00

識別記号

3 0 1 C
Z

庁内整理番号

8602-2B
7416-2B

⑬ 公開 平成3年(1991)3月22日

審査請求 有 請求項の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 移植芝の保存方法

⑮ 特願 平1-203567

⑯ 出願 平1(1989)8月6日

⑰ 発明者 宮池 誠文 広島県神石郡油木町大字近田835-7

⑱ 出願人 山陽芝生株式会社 広島県神石郡油木町大字近田835番地の2

⑲ 代理人 弁理士 伴熊 弘穂

明細書

1. 発明の名称 移植芝の保存方法

2. 特許請求の範囲

(1) 切芝を分解延伸し、筋状のランナーを適当網目間隔のネット上に並べると共に、上面を更にネットで被蔽して構成する長尺の巻ロールの巻取り芯に一定大きさの網状パイプを使用し、且つ該表面を適当間隔に多数の透孔の穿設された合成樹脂製のフィルムで包装し、凡そ 5C ~ 12C の低温倉庫に入れて保存が行わられるようになすことを特徴とする移植芝の保存方法。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は移植芝の保存方法に関する。

(従来の技術)

従来、ゴルフ場や庭園などに種子繁殖の出来ないゾイシア属(日本芝)の芝を育生するには通常 80 cm × 87 cm の方形に裁断した切芝を直接現地に運び、一定間隔に順次並べて移

植することが行われている。

(発明が解決しようとする課題)

日本芝は上述の如く切芝を直接移植する、所謂植替えを行うことが必要なことから、手間が掛かり非常に能率の悪いものとなつている。

本発明者は先に斯有る問題を解決すべく、上記切芝を分解延伸し、筋状のランナーを適当網目間隔のネット上に並べると共に、上面を更にネットで被蔽した長尺の巻ロールを作成し、これをゴルフ場や庭園などの地表面で延展したり、切断したりして行う芝の移植方法(特願昭63-258869号)を提案した。

本発明は上記巻ロールの長期保存方法の提案に係る。

(課題を解決するための手段)

切芝を分解延伸し、筋状のランナーを適当網目間隔のネット上に並べると共に、上面を更にネットで被蔽して構成する長尺の巻ロールの巻取り芯に一定大きさの網状パイプを使用し、且つ該表面を適当間隔に多数の透孔の

穿設された合成樹脂製のフィルムで包裝し、凡そ 5 センチメートル～12 センチメートルの低温倉庫内に入れて保存が行われるようになる。

本発明の作用は以下の説明により明白となる。

(実施例)

第1図は本発明に係る芝の巻ロール製品製造説明図であつて、従来品の切芝1(たて 87 cm よこ 30 cm)を分解機2で細かく分解する。

3 はほぐし機で上記分解された切芝の芝片ほぐしを行う。これにより切芝は夫々のが成長点を有するストロー4(ランナー)に引伸され、供給ホッパー5に投入される。6 はその下方位置に配設した受板、7 は送りローラである。

一方、8 は主としてスフ糸や木綿などで編成されたネット(網目は凡そ 9 mm～18 mm)或は不織布シート(以下、ネットと言う)であつて、ロール巻状をして図示しないクリールスタンドに回動自在に載置されてなり、

るようになされる。

第2図は斯くして製造された巻ロール製品19の一部断面斜視図である。

本発明で上記巻ロール製品19は適宜な寸法のものに設計することができるが、一例で言えば巾6が1 mで長さが50 mの巻きロール(直径Rが80 cm～50 cm)となされ、このさいネット8上に散布するランナー4は1 m×1.2 mの範囲に従来の切芝1(たて 87 cm、よこ 30 cm)のものが散布する状態となされる。

第3図は上記巻ロール製品19を包装した状態を示すものであつて、包装にさいしては巻ロール製品19に充分湿気を与えたのちビニールやポリエチレンなどの合成樹脂フィルムシート20で包裝する。このさい、該フィルムシート20面上には凡そ直径2 mm～3 mmの孔21が凡そ3 cm～7 cm間隔に多数穿設されてなる。

第4図は上記包装品22を保管のために架

A 位置から上記受板6の下方部を通して水平方向の一定長さ範囲をB 位置側で図示しない駆動手段を備えた巻取りローラ9の回動で該巻取りローラ9上へ嵌着させた巻取り芯10へ緩徐に巻取られる。このさい巻取り芯10は直径70 mm～100 mmの合成樹脂製網パイプとされる。

上記作業中、受板6上に供給されるランナー4は送りローラ7の回動と共に常時その一定量がネット8上へ落下されるものとなる。

しかし、11、12及び13はその走行途中に設けた各種薬剤散布手段であつて、夫々発根促進剤、萎縮防止剤、殺菌殺虫剤などが順次散布されるようになつている。

14はスフ糸や木綿などのネット(網目は凡そ 9 mm～18 mm)或は水溶性のロールペーパー、15はその縁出しローラ、16は押えローラ、17はミシン装置であつて上記薬剤の散布された上面を該ミシン装置17で両端及び中央部位置などが縫製18されて巻取られ

台28に架設した状態を示すもので、前後2列で且つ高さ方向に各4段載置してなる。

しかし、上記架台の包装品22は凡そ4セント～12セントの低温倉庫内に入れて保存するのであり、一定期間を定めて清水を噴霧する。該噴霧は倉庫内天井附近へ適當数のスプリンクラーを設置して、定時的に清水が自動噴霧されるようにすることができる。

(発明の効果)

ランナーの発根、発芽は15℃以上の温度となると活発化するので、それ以下の好適な温度即ち凡そ4℃～12℃の低温倉庫内に入れて保存するようになすのであり、一方自己発熱(むれ)は圧迫と通気の無い状態で起ることから本発明では巻ロール製品の巻取り芯として比較的大きな直径の合成樹脂製網パイプを使用するのほか、表面を孔あき合成樹脂フィルムシートで包裝するようになすのであり、且つこれらは架台28の前後左右方向に対し一定の隙間があるようにして架設し保存

される。

従つて、従来の問題点を効果的に解決することのできるものであり、本発明者の実験によれば横重ね状態で芝の休眠期のさいは凡そ6ヶ月程度、休眠期以外でも2~3ヶ月程度の長期保存を可能とすることができます、従来の殆んど保存不可能とされていた日本芝の移植作業に画期的な革命を齎らすものである。

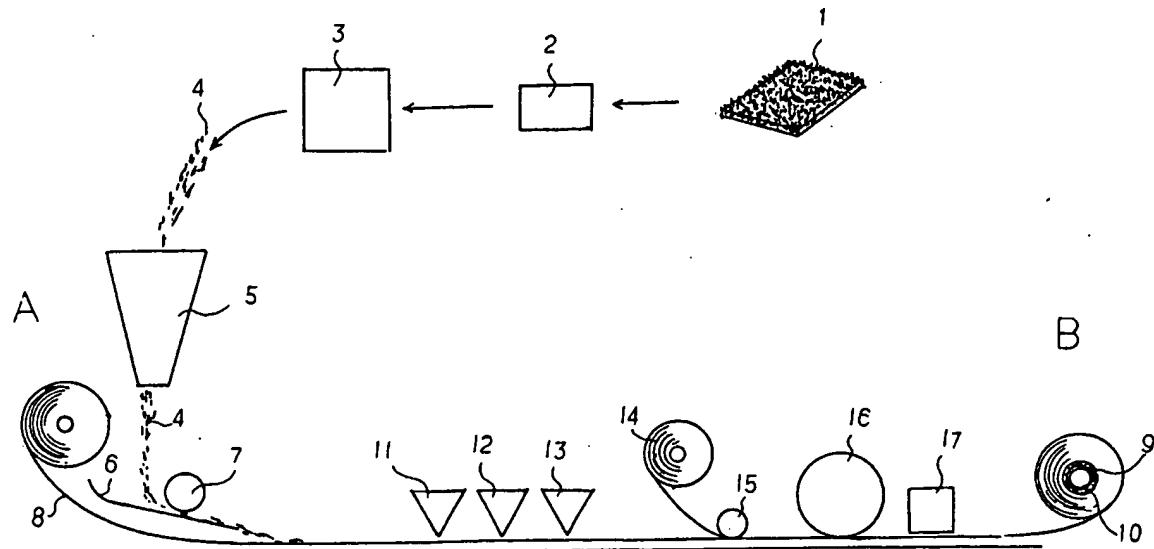
なお、移植作業ではほぐされたランナーの全面が成長点となつてることから、少ない量で広範囲に旺盛な生育を図ることができるものとなる。

4. 図面の簡単な説明

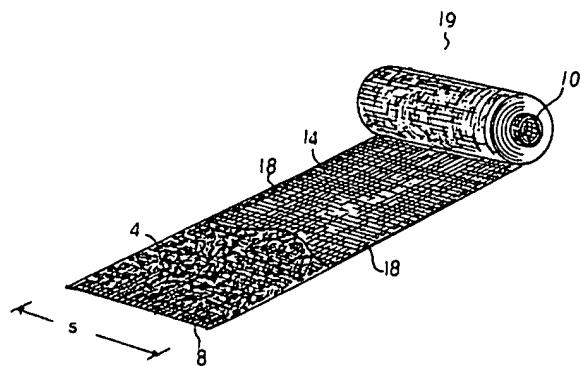
第1図は移植芝の巻ロールの製品製造説明図、第2図は斯くして製造される巻ロール製品の一部破断斜視図、第3図は上記巻ロール製品の包装図、第4図は保管のための架設状態図である。

1 …… 切芝 2 …… 分解機
4 …… ランナー 8 …… ネット

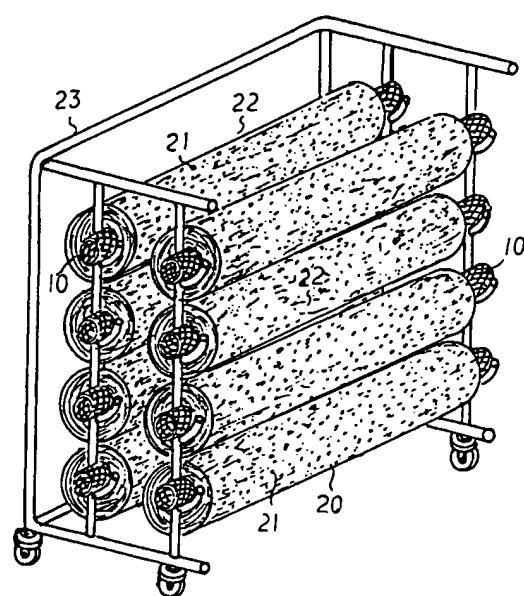
第 1 図



第 2 図



第 4 図



第 3 図

